

発表日	令和6年4月25日
担当課	島根県教育庁教育指導課
担当者	坪倉 将
連絡先	0852-22-6862

令和6年度島根県公立高等学校入学者選抜学力検査について

本概要は、令和6年3月5日に実施した学力検査における受検生の解答と得点状況を総括し、受検生の学力の傾向を示している。

なお、過去の平均点や得点状況のデータも参考として掲載しているが、年度により問題の難易に差があるため、単純に経年比較することはできない。

1 学力検査結果の概要について

受検生の得点状況及び受検生の約1割を抽出調査した結果に基づいて、学力検査結果全般から読み取れる学力の傾向は、次のとおりである。

- ①基礎的・基本的な事項については概ね定着している。
- ②文章や図表などから何が問われているかを正確に捉え、複数の知識及び技能を相互に関連付けて活用する力や、適切に表現する力に課題がある。

2 学力検査得点状況について

<平均点について>

- 5教科総合の平均点は135.1点
- 各教科の平均点

国語	・・・	28.5点	
社会	・・・	27.4点	
数学	・・・	26.8点	
理科	・・・	25.2点	
英語	・・・	27.3点	※ 各教科50点満点、合計250点満点

<各教科の得点分布について> (昨年度比)

- 国語については、30点以上の得点者の割合が減少し、25点未満の得点者の割合が増加した。
- 社会については、ほぼ昨年度並みである。
- 数学については、ほぼ昨年度並みである。
- 理科については、35点以上の得点者の割合が減少し、30点未満の得点者の割合が増加した。
- 英語については、35点以上の得点者の割合が増加し、30点未満の得点者の割合が減少した。

<総得点分布について> (昨年度比)

- 160点以上の得点者の割合が減少し、140点未満の得点者の割合がやや増加した。

3 今後の予定

各教科ごとの問題別正答率や得点分布状況、中学校・高校からの調査結果等について、さらに細かく分析し、それをまとめた「令和6年度島根県公立高等学校入学者選抜の結果と分析」を作成し、6月に公表する予定である。